

- ・令和4年9月に「大阪府グリーンボンド・フレームワーク」を策定し、本府初となるグリーンボンドを10月に発行
- ・グリーンボンドで調達した資金は、SDGsの実現に向けて、二酸化炭素(CO2)排出量を削減する緩和策や気候変動による自然災害の影響を軽減・回避する適応策に活用
- ・また、グリーンボンドの発行により、国際金融都市OSAKAの実現に向け、サステナブルファイナンスを積極的に推進するなど、金融面からもSDGsを推進

大阪府グリーンボンド・フレームワークの概要

- ・「2030大阪府環境総合計画」及び「大阪府地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」などを基に、グリーンボンド・フレームワークを策定
- ・第三者機関であるJCRからセカンド・パーティ・オピニオンを取得、国際資本市場協会(ICMA)や環境省の原則等に適合していることを確認

《調達資金の使途(グリーン適格プロジェクト分類)》

- ✓ 気候変動への適応
- ✓ 生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理
- ✓ クリーン輸送



発行概要

年限	15年満期一括償
発行額	50億円
利率	年 0.927%
発行日	令和4年10月31日
主幹事	みずほ証券株式会社(事務) / 大和証券株式会社
第三者評価	株式会社日本格付研究所(JCR)より、 最上位評価の「Green1(F)」 を取得
対象プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ● 堤防や洪水調整施設等の整備 ● 土砂災害防止施設(砂防堰堤等)の整備 ● 道路の無電柱化 ● ため池等の総合的な防災・減災対策 ● 公園緑地の創出 ● 大阪モノレールの延伸 ● なにわ筋線の整備

- ・生保2件、都銀等1件、系統下部10件、地方公的7件、諸法人100件の幅広い投資家が参加し、合計120件(うち地元投資家105件)・85.4億円の最終需要を獲得
- ・グリーンボンドの充当事業並びに、SDGs施策への理解を深めた投資家117件から投資表明の意向を獲得
- ・次年度以降も継続して、グリーンボンドを発行していくことで資金調達手法の多様化を図り、投資家層の拡大、安定調達を図っていく